

（本の香りがするまちづくり）

真庭市立中央図書館

知と情報の拠点

読書、本に親しむことは、

子どもにとって、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、想像力を豊かなものにし、生きる力を身につけていく上で必要不可欠なものです。また、大人にとっても、知識や教養を身に付け、人生をより豊かにするために重要なものです。

今回は、新たに誕生する真庭市立中央図書館について、施設の概要と開館に向けた取り組みを紹介します。





1F 一般図書フロア

- ①一般書架閲覧スペース ②総合カウンター
- ③貴重書庫 ④市民活動室
- ⑤郷土資料室 ⑥飲食スペース

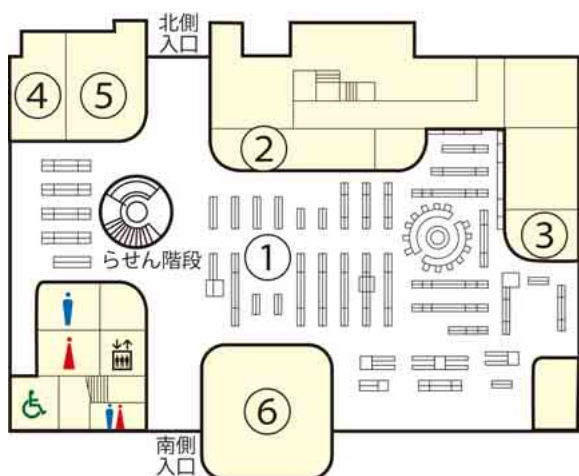


①自然光が差し込む明るい閲覧スペース



②総合カウンター

らせん階段



入口を入ると映画の世界のよう
な大きな本棚とらせん階段、
その奥には総合カウンターがあつ
て、図書館スタッフがお出迎え
してくれるよ。

1階には一般書のほかに、真
庭市の歴史や文化を伝える郷土
資料などがあるし、新聞や雑誌
も読めるよ。DVDやCDも借
りすることもできるんだ。

それに、飲食スペースもある
から、みんなが1日ゆっくり楽
しむことができるね。

7月3日(火)に開館する真庭市立中央図書館
を一足早く、まにぞうが訪問しました。
真庭産木材がふんだんに使われ、木のぬくも
りに包まれる館内をまにぞうが案内します。

真庭市立中央図書館

紹介



真庭市立中央図書館

〒717-0013 真庭市勝山53-1

電話:0867-44-2012 FAX:0867-44-2020

●開館時間:午前9時～午後7時

※映像シアターと会議室は午後9時まで
使用可(要予約)

●休館日:月曜日(祝日の場合はその翌日)

※12月29日～1月3日(年末年始)

※その他資料整理期間(年間14日以内)

【映像シアターについて】

予約可能期間:使用日1年前の月初めから
使用日の14日前まで

部屋の使用料:700円/時間

冷暖房費 :350円/時間

シアター設備:1,100円/一式

【会議室について】

予約可能期間:使用日3カ月前の月初めから
使用日の3日前まで

部屋の使用料:600円/時間

冷暖房費 :300円/時間

3F 学習室・会議室フロア

- ①映像シアター
- ②研修室
- ③個別学習室
- ④グループ学習室
- ⑤会議室



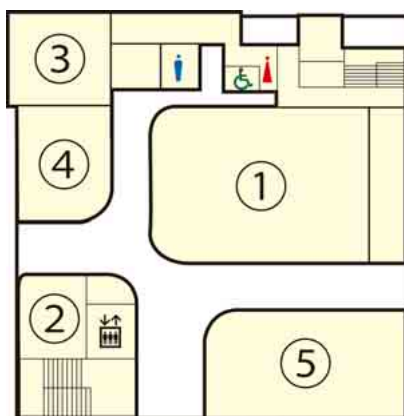
①映像シアター



③個別学習室



④グループ学習室



エレベータで3階にあがると、映像シアター、会議室、学習室などがあって、勉強したり、地域やグループでの研修や会議をしたりできるよ。

映像シアターには200インチのスクリーンがあって、88人（固定席は52席）が座れるよ。講演会や発表会など、地域の情報発信にも利用できるね。

映像シアターと会議室は予約が必要だから、利用したい人は事前に中央図書館で予約をしてね。

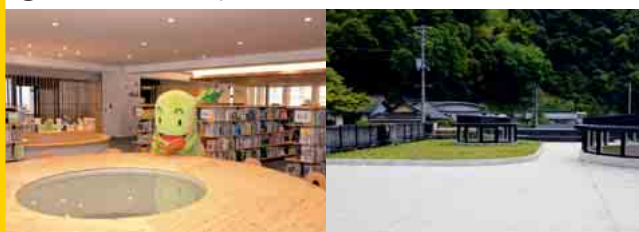
みんなで行ってみよう。

2F 児童図書フロア

- ①児童書架閲覧スペース
- ②貸出カウンター
- ③おはなしの部屋
- ④キッズスペース
- ⑤キッズテラス

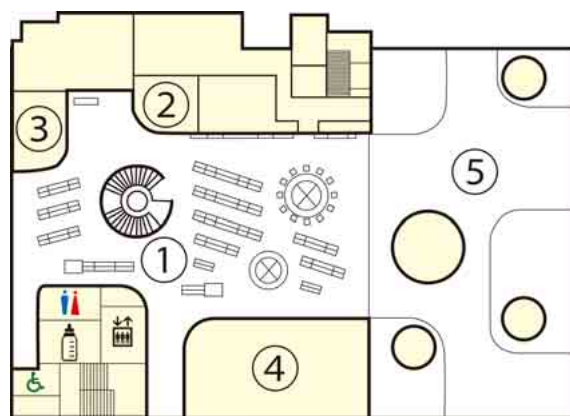


④ゆったりとしたキッズスペース



①児童書架閲覧スペース

⑤キッズテラス



2階は、児童図書フロアだよ。子どもたちが読みたい本を探しやすいように、本棚は低くなっているんだ。たくさん絵本や児童書が、みんなに読書の楽しさを教えてくれるよ。キッズスペースに入るとクッションマットが敷いてあるから靴を脱いで本を読めるんだ。おはなしの部屋に行ってみると読み聞かせができるから、みんなで本を楽しめるよ。

それに、お天気の日にはキッズテラスに出て、お日様の下で読書することもできるんだ。

市民参加型の図書館に向けて

本に親しむ機会を提供する図書館から、市民みんなで作り上げる市民参加型の図書館に向け「知と情報の拠点としての利活用に向けたワークショップ」が行われています。

ここでは、市民みんなで作り上げる図書館への期待を、ワークショップに参加している高校生と子育てをするお母さんに伺いました。

図書館に関わる

将来は図書に関わる仕事をしたいと考えていて、高校では図書委員をしています。担任の先生から勧められ、ワークショップに当初からずっと参加しています。

読みたい本を読むことができるので、中学生のときまでは地域の図書館をよく利用していましたが、小中学生向けの本が多いことや、高校の図書室が充実していることもあり、最近は地域の図書館に行く機会は少なくなっていました。このワークショップに参加したことで、図書館に行く機会も増え、また、今まで聞くことができなかった世代が違う人たちの話を聞く事ができ、今までと違う視点で図書館について考え、図書館を見ることができました。

図書館とつながる きっかけを作りたい



村上 翔太さん
岡山県立勝山高等学校3年生

本好きでいるために

学校の図書館にも自習スペースはありますが、友だちと集まると、つい集中できないことがあります。学校から歩いて10分程度で行くことができる中央図書館3階の学習室はとても気に入っています。個人で集中して学習ができる個別学習室と、数名で利用ができるグループ学習室があり、静かな環境で木の温もりを感じながら、落ち着いた勉強ができると思っています。

また、2階にある児童書コーナーも気に入っています。小さいときに本を楽しむ環境があり、本で良い思い出があれば大きくなっても本好きだと思います。小さな子どもが図書館に良いイメージを持つてくれるようになるのが嬉しいですね。

地域で育てる図書館

図書館は本が多く集まる場所、本を借りる場所という堅いイメージを持っていましたが、ワークショップに参加していると、地域の人が集まり情報が集まる場所、親しみが持てる場所へとイメージが変わりました。この良いイメージをみんなに伝え、気軽に行ける場所、利用しやすい場所になるようにしていきたいです。

また、3年生なので期間が限られてしましますが、高校の図書委員と中央図書館の司書の人と一緒に展示企画などを考え、高校と図書館、そして地域とがつながるきっかけを作ることができればと思っています。

地域の人が集まり、一緒に考え、まちを挙げて図書館を育てていくことができるワークショップはすごくいいですね。高校生として、本好きの一人として図書館への期待や思いを伝えながら、自分ができていることをしていきたいです。



▲図書館への思いを伝える



▲活用方法をみんなで検討



▲ワークショップの様子

子育て世代の思いを伝える

本が好きなこと、勝山地区に書店がなかったこともあり、母の店で古書販売などを企画し活動したり、勝山地区の『本とまちプロジェクト』に参加したりしていました。そうした中、勝山図書館から声を掛けていただき、「中央図書館を勝山に」という思い、そして、図書館を利用する子育て世代として、「こんな中央図書館があったらいいな」という思いを伝えたいと、ワークショップに参加しました。

ワークショップに参加したことで、世代や立場が異なる人の多様な意見を聞く機会が得られ、自分が市民であること、社会の中にいることを感じることができました。

図書館が出会いと交流の場に



藤久 一穂さん
ワークショップに参加するお母さん

図書館の楽しさを伝える

子どもに本の楽しさ、図書館の楽しさを伝えていきたいので、毎週日曜日には図書館を利用しています。子どもも楽しみにしているので、本を読むことの楽しさは子どもへ伝わっていると思います。

これまでの市立図書館について改めて考えてみると、一般蔵書、児童書、絵本、学習スペースなど施設は整っていますが、子どもは大きな声で話すと、親は気を遣っていました。また、選んだ本を読み聞かせをする場所なども無かったので、滞在時間も短くなってしまう、子どもは図書館を本を借りる場所としか思っていない。新しくできる中央図書館は、2階に児童書が集まり、キッズスペースやおはなしの部屋、テラスもあり、子どもに本の楽しさだけでなく、図書館の楽しさも伝えることができる。飲食スペースもあるので、家族みんなが一日図書館を楽しむことができれば嬉しいですね。

また、友人と待ち合わせ、話をする場所として、そして、家族や友人だけでなく、図書館が新たな出会いの場となり、子どもの、大人の交流が広がることに期待しています。

出会いと交流の場に

ワークショップに参加する人は、図書館に関わりたい、良い図書館にしたいとの思いから集まっています。さまざまな世代や立場の人が交流することで、自分では気づかないことに気づく機会にもなりました。

私は子育て世代として意見を伝えたいですが、中央図書館が開館し新たな出会いや交流が生まれる場となり、子育てをする人同士が集まりながら、子どもと一緒に参加することができるワークショップなどしてみたいですね。絵本の読み聞かせや紙芝居、お話し、そして子どもが鑑賞できるママシアターなども企画していきたいです。

子どもがいて、大人がいて、好きな人がいて、映画好きな人がいて、いろんな人が出会い、交流する図書館にしていきたいです。

本の香りがする まちづくりを目指して

学び合い、人生を応援し合う、市民参加型の図書館を目指す中央図書館。
その役割や市民参加などについて、秋田繁彦館長に話を聞きました。

中央図書館の役割

中央図書館では、子育て世代には絵本や図鑑、本好きな人には名作、歴史や民俗に興味がある人には専門書など、さまざまなジャンルの本を提供することに加え、他の図書館にはない映像シアターや独立した学習スペースなど、充実した施設を完備しています。また、これまで図書館に足を運ぶことが少なかった人にも利用していただけるように、各年代のニーズを把握し、そのニーズに合った講座なども実施できればと考えています。そして、情報を提供する施設であつた図書館の機能を発展させるとともに、市民の集いの場として、世代を超えた交流の場として、市民の皆さんの協力によって「市民参加型図書館」として運営を行っていききたいと考えています。

市民参加型図書館とは

私たちが目指す「市民参加型図書館」とは、利用者と一緒に運営を行っていく図書館ということです。例えば、絵本の読み聞かせなどを市民ボランティア

の人に依頼したり、利活用に向けたワークショップを開催したりして、市民の皆さんの意見を運営に取り入れていくことを考えています。

開館に向けた準備では、旧勝山図書館から中央図書館へ書籍の引越作業を、小学生から大人まで、多くのボランティアの皆さんにお手伝いいただき作業を行いました。

また、「こんな図書館あつたらいいな」「図書館でこんな事したいな」「こんな協力できるよ」などをテーマとしたワークショップを開催し、市民の皆さんから多くのご提案をいただきました。そして、そのメンバーを中心に6月に中央図書館サポーターズができ、「自分たちができることをやってみよう」と活動を開始したばかりです。関心がある人、参加してみたい人は、中央図書館までお問い合わせください。

地区図書館との連携

市内には、中央図書館を含め7つの図書館があります。中央図書館と各地区図書館が一体となつた図書館サービスの提供を考えることが、中央図書館の役

▶秋田繁彦 館長(写真右)と
中央図書館スタッフ

皆さんのお越しを お待ちしております



真庭市図書館基本構想

①子供の成長に役立つ図書館

- 子供の感性や人間性を育む読書活動を支援
- 子育てを応援し、子供の交流機会に関する情報を提供

②人づくりに役立つ図書館

- 市民の課題解決と主体的な学習を支援する情報を提供
- 市民のライフスタイルに対応した図書館サービスネットワークを構築

③暮らしに役立つ図書館

- 生活上の問題を解決するために健康、医療、法律、行政施策等の情報を提供
- 地域回帰への期待のある中高年層の活動の場を提供

④地域おこし、まちづくりに役立つ図書館

- 就労支援、ビジネス支援に関する情報を提供
- 農林業や商工業など、市内地場産業関係の情報を紹介

⑤文化振興に役立つ図書館

- 蔵書等を活用し様々な文化や芸術作品に出会う機会を提供
- 郷土の歴史や地域文化、伝統文化などに関する情報の収集と紹介



▲ボランティアでの開館準備

割となります。これからも、「本の香りがするまちづくり」を目指して各図書館と連携しながら取り組んでいきますので、市民の皆さんもお近くの図書館に足を運んでいただけたらと思います。そして、まずは中央図書館に来てみてください。スタッフ一同、皆さんのお越しをお待ちしております。

真庭市立図書館紹介



美甘図書館(美甘振興局内)

真庭市美甘4134

TEL.0867-56-2611

開館時間: 午前9時～午後5時

休館日: 月曜日、年末年始



落合図書館(落合総合センター内)

真庭市落合垂水618

TEL.0867-52-3315

開館時間: 午前9時～午後6時

休館日: 火曜日、年末年始



北房図書館(北房文化センター内)

真庭市上水田3131

TEL.0866-52-5220

開館時間: 午前9時～午後6時

休館日: 月曜日、年末年始



蒜山図書館(平成31年3月蒜山振興局内に移転予定)

真庭市蒜山上長田545-2

TEL.0867-66-7880

開館時間: 午前9時～午後5時

休館日: 月曜日、年末年始、土日を除く休日



湯原図書館(湯原ふれあいセンター内)

真庭市豊栄1515

TEL.0867-62-2011

開館時間: 午前9時～午後5時

休館日: 月曜日、年末年始



久世図書館(久世エスパスセンター内)

真庭市鍋屋17-1

TEL.0867-42-7203

開館時間: 午前9時～午後6時

休館日: 水曜日(祝日の場合は翌日)、年末年始